

はしかみタイムズ



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館に隣接する気仙沼向洋高校旧グラウンドに整備が進められてきた「気仙沼市パークゴルフ場」が9月1日にオープンした。市有地3.4ヘクタールに、4コース計36ホールが整備され国際公認コースの認定を目指している。比較的平坦なコースではあるが県内で初の池を配しており初心者から上級者まで楽しめるコースとなっている。

健康増進と賑わい創生

気仙沼市パークゴルフ場

気仙沼市パークゴルフ場は「小野良組」が創立100周年事業の一環として整備し、8月29日に市へ寄付した。指定管理は、一般社団法人「汐風倶楽部」が担い運営していく。30日には、階上地域の住民に無料開放され一日で約80名ほどの方

がプレーをした。1日には現地で開場式を関係者ら約50名が参加し開催した。挨拶の中で菅原市長は「震災遺構とパークゴルフ場の組み合わせには賛否両論があったが、相乗効果があると期待していると話した。地域の方の健康増進

と震災遺構に隣接し、観光地である岩井崎やお伊勢浜海水浴場にも近い立地にあることから、このパークゴルフ場を中心に階上地域の観光の新たな動線ができて賑わいの創出につながることを期待されている。営業時間は4～10月は午前8時半～午後5時、11月～3月は午前9時～午後4時。毎週水曜日が定休日。



料金は一般が600円、高校生以下300円。クラブやボールなど用具の貸し出しも行っている。

【発行元】

階上地域まちづくり振興協議会
 会長 畠山 光夫
 〒988-0222
 気仙沼市長磯船原20
 電話
 090-8256-9799
 HP
 www.hashikami-mach
 ikyo.jp
 公式LINEアカウントから友達と登録
 お願いします



新たなコミュニティも

階上パークゴルフ愛好会

気仙沼市パークゴルフ場のオープンを目前にした8月21日にパークゴルフを通して会員相互の親睦と健康づくりを図り、明るく楽しい地域づくりに寄与することを目的として「階上パークゴルフ愛好会」が発足した。会員は階上小学校区に在住か階上地区の職場に勤務している方で9月1日現在で54名。今後は、月2回の練習会(第1月曜日、第3日曜日)を中心に活動をしていく予定。随時会員は募集しており、年会費千円で申し



込みは階上公民館で受付をしている。また役員は以下の通り。
 会長 畠山光夫
 副会長 菊田皓
 会計 川村和賀枝
 監事 小野寺隆成

感染症を知る

階上地区青少年育成協議会

階上地区青少年育成協議会は9月2日、階上中学校体育館を会場に教育研修会を開催した。内容は、「新型コロナウイルス感染症と今後の対応」と題して講師に、東北大学大学院医療系研究科内科病態学講座 総合感染症学分野の助教、吉田眞紀子先生を招いて行われた。

テーマは大きく分けて3つ。1 新型コロナウイルスについて、コロナの感染経路や感染するとどのような症状があらわれるのかなど話され、心疾患や糖尿病、高血圧など持病のある高齢の方は重症化しやすく特に注意が必要だと言う。
2 予防のポイントでは、従来言われている

通り三密を避ける、手洗い、マスクの着用、消毒、換気をしっかりと行うこと。とにかく、感染経路を遮断することが大事とのこと。皆さん予防策について知っているものほとんどの方は間違えたやり方で、すべての予防法で正しいやり方にて施行していきたい。

3 今後の対応については、特定の予防策だけやれば大丈夫ということではなく、複数の予防策を講じて足し算していき感染のリスクを減らしていくことが



ベスト。毎日の検温や健康チェックに加えて一日の行動を記録することも必要。最後に感染症は常にだれにでも起こりうるもので社会全体のリスクだと認識して、もし身近な人が感染しても差別的な言動などは控えて欲しいと呼びかけた。

復興大臣感謝状贈呈式

伝えることの重要性を評価

語り部部会と階上中学校は、これまで行ってきた伝承活動が評価され復興大臣より感謝状が贈呈された。

東日本大震災で経験した地域の記憶や教訓を後世に残すために精力的に活動していること。特に階上中学校の有志で語り部をやりたいたいという生徒たちを指導やサポートし「震災を知らない人」、「震災を知らない世代」へ



伝えることの重要性が地域の世代間で継承されていることが理由。

贈呈式は9月3日に気仙沼市市民福祉センター「やすらぎ」で開催され、語り部部会からは、近藤公人部会長、

三浦秋男副部会長、階上中からは田中校長先生と語り部活動を行っている3年生13名が出席し、田中和徳復興大臣から感謝状を受け取った。その後大臣を囲

んでの懇談で活動や想いについて説明。田中大臣からは自然災害が多い日本で防災減災を考えるときに、震災の経験を語り伝えていくことの重要性は今後より一層増してくる。今後とも活動を継続して後世へ語り継いでほしいと話された。

贈呈された感謝状は、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の図書コーナーに展示されている。

砂に想いを乗せて

気仙沼青年会議所

一般社団法人気仙沼青年会議所は、お伊勢浜海水浴場を会場に9月12日「レッツ★サンドアート」を企画していた。しかし、当日の悪天候により残念ながら中止となった。

日本有数のプロ砂像アーティストで世界一



にも輝いたことがある保坂俊彦氏を招いて親子でサンドアートに楽しんでもらうと同時に自然の大切さを学んで行う予定であった。イベントは中止になったものの、岩井崎の「龍の松」と大谷の「はまわらす」をイメージして保坂氏が制作した作品がお伊勢浜海水浴場に展示している。約1カ月程度は崩れずにもつそうなので天気の良い日にはお伊勢浜に足を運んでほしいと呼びかけている。